



北海道日高高等学校
〒055-1307 北海道沙流郡
日高町松風町一丁目一六番地の二
<http://www.hokkaido-hidaka-hs.jp/>



「実り多き新年度に向けて」

北海道日高高等学校長 谷 尊仁

日高高校の校長の谷 尊仁（たにかひと）と申します。どうぞよろしくお願致します。

令和三年度になりましたが、昨年度から「新型コロナウイルス」感染症拡大防止について教育現場でもその対応に追われていたところでもあります。生徒において「新しい生活様式」を徹底し、「感染予防の指導」を行いつつ、「自分を守る」ことが「仲間を守る」に繋がることが、「自分を大切にすること」他者への思いやり「の気持ちを育んでおり、ご家庭にも協力を願いながら、生徒の安全を最優先に教育活動を行っております。

内農業高等学校日高分校として設置許可、昭和二十四年二月日高小学校に併置、開校式が挙行され、平成二年から日高町産業学習推進制度の第一期生が入学して、現在に至っております。日高町教育委員会が主催する「産業学習推進制度」の卒業が可能な高校です。在籍生徒は全員がこの制度を活用しており、昼間は産業学習を中心として活動し、夜間は高校で学び、寮での共同生活という充実した時間を過ごしております。平成三十年から「学校運営協議会」を設置し、「コミュニティ・スクール」を導入して地域の皆様や日高町教育委員会と連携し、「地域」とともに大切な「学校」を目指して取り組ま



入学式では代表として、松本君が宣誓文を読み上げました。

日高の大自然に抱かれながら、「日高高校に入学して良かった」と思えるような充実した高校生活を送れるように、様々な教育活動の実践を日高町教育委員会とともに推進していく所存です。今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



一学年の担任を務めることになりました、米内山 大輝（よないやま ひろき）と申します。どうぞよろしくお願致します。

四月から入学した新入生八名は新たな土地でのスタートとなり、不安や抵抗も多々あると思います。しかし、それは当たり前の事だと思えます。なぜなら人間には恒常性という「体外環境が変化しても体内環境を一定に保とうとする機能」が備わっています。例えば、暑いときには体温を下げ、寒いときには体温を上げるために体は震えます。つまり、もともと変化を嫌うような機能が備わっているのです。これは心にも同じ事が言えて、新しい事に挑戦しようとしても変化を嫌い抵抗が生まれます。三日坊主になるのもそのためです。しかし、「心の恒常性」を打ち破り「継続」することが出来れば「習慣」にすることが出来ます。新入生の八名には日高高校での三年間、どんな新しいことに挑戦し、出来ることを増やしていったほしいと思います。焦ることはありません。一歩ずつ成長していきましょう。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
1学年担任 米内山 大輝



親元を離れて寮生活を送るといふこともあり、ご心配も多々あるかと思えます。私たち職員一同、精一杯支援していきたくと思っております。今後ともお子様の成長を温かく見守ってくださいませ。よろしくお願いします。

